

指宿市版まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に対する  
ご意見等とそれに対する市の考え方

1. 人口推計目標・人口分析（人口ビジョン（案））について

No.	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
1	<p>人口構成の変化が、本市の産業構成にどんな影響があるか述べられていない。少なくとも、産業別就業者数を10年毎に推測し、それなりの手立てを打つ必要がある。</p> <p>例えば、介護関連産業において、ケアマネージャーや看護師、寝たきりの高齢者、認知症患者数などの過去の統計や将来推計に基づき、どの程度の収容規模の施設が用意できるのかなど、どのように高齢者の生活をどう支えていくのかの分析がない。</p> <p>農業においても、60代、70代、80代がやる農業は異なるはずである。同様のことが、第三次産業についても言える。</p> <p>人口ビジョン（案）の推計によると、生産年齢人口が減少していく中で、例えば、建設業や食材製造など、産業によっては、雇用において元気な世代の奪いになり、衰退していく可能性がある。</p>	<p>将来人口推計については、国の調査研究機関である国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」という。）による推計が基本にあり、それに準拠したシミュレーションワークシートを使うことで、独自推計ができてるのが現状です。</p> <p>一方、将来の産業別の就業人口推計については、国の長期ビジョンにもなく、様々な要因を推測するとともに、各種人口推計とも整合性を持たせるような、市独自のシミュレーションを行うことは現実的に難しいと考えています。</p>
2	<p>人口ビジョン（案）と戦略（案）において、市の税収予測、収入予測がなされていない。</p> <p>予測の必要がないのであれば、はっきりと述べる必要があるが、今後、国の財政も地方の財政も行き詰っていくことは明らかであり、戦略で税収・収入見通しが全く触れられていないのはおかしいと思う。</p>	<p>人口ビジョン（案）については、あくまで、人口に着目した内容としております。</p> <p>また、人口ビジョン（案）の図表3の社会保障・人口問題研究所（社人研）推計による年齢3区分人口割合の将来推計や、図表19の市独自推計による年齢3区分割合の推計における、生産年齢人口（15～64歳）の減少予測が、それに伴う税収等の減少を示しています。</p> <p>ご指摘のとおり、人口減少が市の税収等に与える影響については、人口ビジョン（案）、戦略（案）ともに、文言としても触れられておりませんでしたので、戦略（案）「第1章 基本的な考え方」の「人口減少と地域経済縮小の克服」の4段目を、「こうした人口減少は、地域経済における消費市場の規模縮小による経済力の低下や、税収等にも大きな影響を与えるとともに、・・・・」に修正したいと思います。</p>

3	<p>人口推計が、45年後の超長期の目標になっているが、基本的には市長任期に合わせた4年間とし、その他にも、毎年度、中期の10年後、長期の20年度の人口目標設定した方が良いのではないか。</p>	<p>人口ビジョン（案）で示している人口推計における推計年度とその間隔は、社人研による推計及び国勢調査と一緒です。</p> <p>実際に、国勢調査の結果に基づき効果検証していくうえでも、現在の5年間隔が適当であると考えます。</p> <p>また、今回示している市独自の人口推計は、各自治体による地方人口ビジョン作成にあたり、国が配布した、社人研準拠推計によるシミュレーションワークシートを使って推計しているものであり、そこでの設定が、社人研推計及び国勢調査の年度と間隔（5年）となっているところです。</p>
4	<p>「2060年に2万5千人以上」という人口目標は、あまりに控えめな目標設定ではないか。</p> <p>出生率の目標が、2020年に1.55、2030年に1.80となっているが、これでは人口減少を受け入れていることになる。人口が維持できると言われる出生率2.08を目標にするべきではないか。</p>	<p>「2060年に2万5千人以上」という人口目標推計は、前提条件として、仮定の設定をしている、合計特殊出生率、移住者受け入れ世帯数、人口流出抑制における高校卒業時の地元就職率、全ての仮定条件を毎年度クリアしてはじめて達成できると推計されたものです。</p> <p>また、国の長期ビジョンからも、国全体として、人口減少していくことは明らかです。そのような中において、地域間での人口の奪い合いになると推測されます。</p> <p>人口を現状維持していくというよりも、人口減少幅の縮小に努めながらも、「基本目標4. 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域が連携する」にあるとおり、人口が減少する中でも安心して暮らしていけるまちづくりをどうやって作っていくか、真剣に考えていかなければならないと考えています。</p> <p>なお、出生率の向上については特に、市の取り組みだけではなく、国の政策も合わせて展開されることで、目標が達成できる項目だと考えています。従いまして、出生率に関しては、国の長期ビジョンにおける目標値と整合性をとった目標設定としています。</p>
5	<p>市独自の人口推計に基づき、2060年に人口が2万5千人になった時、市の職員の構成はどうなっているだろうか。人口が半減した中で、その将来人口から推計される収入に基づき、維持できる職員数を分析すべきである。</p>	<p>市の職員数については、基本的には、行政が行うべき事務事業量に応じた、必要な職員数を議論する必要があると考えます。</p> <p>戦略（案）の「4（イ）①ゆるやかにつながる小さなまち・むら（小さな拠点）づくり」において、「地域内分権推進指針案の策定」を掲げているとおり、人口減少が進むことが想定される中において、これまで行政が行って</p>

		きた公共サービスの一部について、行政と地域が役割分担を行い、地域が自立的に公共サービスを担っていくことができる新たなコミュニティ組織を創出しながら、地域内分権を推進することと合わせて、職員数の見直しを図っていく必要があると考えています。
6	市の独自推計における前提条件（合計特殊出生率、移住者数、人口流出抑制における高校卒業時の就職率と及びそのうちの地元就職率）の設定根拠が示されていない。	人口ビジョン（案）における、市の独自推計のための前提条件（合計特殊出生率、移住者数、人口流出抑制における高校卒業時の就職率と及びそのうちの地元就職率）の設定については、戦略（案）における施策の成果指標である、KPI（重要業績評価指標）などを加味して設定しています。また、合計特殊出生率に関する前提条件（仮定）は、国の長期ビジョンにおける目標値と整合性をとっています。 なお、戦略（案）におけるKPI（重要業績評価指標）の設定にあたっては、戦略の原案を作成した民間合同による地方創生プロジェクトチームにおいて、現状の数値と、戦略の施策を踏まえながら、ふさわしい成果指標（目標）を民間合同で設定したものです。
7	指宿市の現状分析をもっとすべきである。 例えば、耕作放棄地の広さや分布、市内の空き家の件数や分布、地域別の高齢化率、高齢世帯や寝たきり、認知症患者数、老人介護施設の種類・規模・数、所得階層別の世帯統計、農産物の種目別生産量と販売金額及びその利益、市や県の資産状況などの統計情報を公開し、市民への問題提起を行う必要がある。	人口ビジョン（案）については、人口に着目した内容としております。 なお、ご指摘にあるような統計データの一部については、毎年度の「統計いぶすき」を、市のホームページ上で公表しています。

## 2. 戦略（案）の「基本的な考え方」について

No.	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
8	戦略の検証・改善で示している、PDCA（計画→実行→評価→改善）において、費用対効果の視点が抜けている。	戦略においては、施策毎に、その成果指標であるKPI（重要業績評価指標）を設定しています。 外部諮問機関である「指宿市総合振興計画審議会」において、毎年度、これらの成果指標や基本目標における数値目標に対して、費用対効果も含めて、効果検証し、戦略の見直しを行っていくこととしています。

### 3. 戦略（案）の「目指す方向・具体的な施策」全体について

No.	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
9	<p>戦略の事業展開のために使われる国の交付金は、税金である。交付金獲得は必要最低限にとどめながら、新しい発想に基づく、まちの力を最大限活用した戦略の実現を希望します。</p> <p>そのためにも、総合戦略の施策と類似する既存の事業については、コストや時間の無駄のないように、内容や担当部署等を精査、統合するなどし、将来の負の遺産とならないような、効率的な運用をお願いします。</p>	<p>限られた財源の中で、行政だけでなく、市民や民間の方々と一緒になった、効果的な施策の展開に努めてまいります。</p> <p>また、今回の戦略の原案は、施策の関係部署の職員と民間メンバーで構成するプロジェクトチームで作成したものであり、その中で、既存事業との整理・統合などの視点も検討したうえで作成しております。</p>
10	<p>残念ながら、これまで、まちづくりを行政任せにしていた部分が多かったと思う。</p> <p>この戦略を良い機会として、行政主導から民間・行政の更なる連携強化によるまちづくりへ転換する良い機会だと思う。行政と民間が役割分担しながら、あまりお金のかからない、効率的なまちづくりを行っていくことを希望する。</p>	<p>地方創生に向け、戦略（案）の各基本目標における連携・協働体制に基づき、市民、民間、行政の連携による効果的なまちづくりに取り組んでいきます。</p>
11	<p>各施策にどの程度の予算をつけるのか示されていない。少なくとも、5～10年先までの税収・収入を見込み、そのうえで、どのような施策が可能なのかを精査したうえで、戦略（案）として示すべきである。</p> <p>特に、戦略（案）にある「タイ・シンガポールセールスの実施」や、「海外メディア招聘事業」、「ムスリム体制の構築」などは、それなりの予算が必要だと考えるので、費用対効果の判断があいまいではないか。</p>	<p>戦略を実施するための財源については、既存事業の見直しなどによる財源や、現在、国が制度設計中である、地方創生のための新型交付金、国・県などの有利な補助金などを見込んでいます。</p> <p>逐次、国の動きも踏まえながら、限られた予算の中で、優先順位等をつけながら事業を実施していく必要があると考えています。</p>
12	<p>戦略（案）においては、人口ビジョン（案）の最終年度である45年後の人口目標しか述べられておらず、誤解を招きかねない。人口ビジョン（案）では、5年毎の市独自の人口推計もしているのので、戦略（案）の中に、「5年毎の人口推計は、人口ビジョンを参照」というような記載をすべきではないか。</p>	<p>戦略（案）の「3（1）人口目標」においては、「指宿市版地方人口ビジョンで推計した将来の人口推移を踏まえ、2060年における本市の人口を2万5千人以上で維持することを目標」とすることだけ記載していますが、ご指摘のとおり、誤解を招かないように、「なお、5年毎の市独自の人口推計値は、指宿市版地方人口ビジョン」に掲載してあります。」の文言を追加したいと思います。</p> <p>また、人口ビジョン（案）における市独自推計の図表18（グラフ）についても、合わせて、5年毎の推計値を追記したいと思います。</p>

#### 4. 「基本目標 1. 地方における安定した雇用を創出する」について

No.	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
13	<p>「もうかる指宿クラスター（仮称）」による事業展開は、全国の自治体が取り組むであろう、特産品開発・販路拡大のための事業内容であり、競争相手が多量中、差別化した施策が必要だと思ふ。</p> <p>今まで、特産品開発については、多くの予算をかけてきたと思ふ。これを機会に、その効果検証を行い、課題なども振り返ったうえで、予算との費用対効果を厳密に精査しながら進めていってもらいたい。予算や事業を増やせば良いというものではなく、集中と選択だと思ふ。</p>	<p>「もうかる指宿クラスター（仮称）」については、これまで農政と商工分野で行ってきた特産品開発・販路拡大に関する事業を見直し、統合してより効果的な事業展開を行おうとするものです。</p>
14	<p>「もうかる指宿クラスター（仮称）」における、特産品開発については、一から開発するのではなく、既に指宿で作られ、親しまれている加工品（地域の名物、家庭の味等）をパッケージ化・ブランド化して販売してはどうか。あまりコストをかけず、競争相手も少なく市民参加で、地域資源を有効活用した、もうかる仕組みができると思ふ。また、地域色・独自色も強いため、マスコミ等にも取り上げやすいと思ふ。</p>	<p>「もうかる指宿クラスター（仮称）」における、販売戦略研究会（仮称）や特産品起業塾（仮称）の事業展開の中で、ご指摘にあるような既存商品のパッケージ化やブランド化も含めて調査・研究していくこととしています。</p>
15	<p>人口減少は、将来の確実な消費の減少を意味しており、大手企業等は撤退する可能性があることを考えても、地元企業の活性化は必ず必要である。</p> <p>地元企業が生き残っていくためには、新たな事業を一から立ち上げるのではなく、顧客層が近い地元企業同士が連携して、サービスや商品をお互いに提供していくことで、売上や雇用につげる、地域版商社のような仕組みが必要であると思ふ。そのためのマッチングの仕組みを「地域企業応援センター（仮称）」に期待する。</p>	<p>「地域企業応援センター（仮称）」や「もうかる指宿クラスター（仮称）」は、正に、地元の異業種の企業や団体が連携することで、事業効果を高めようとするものです。ご指摘にあるような効果についても、その役割を担いながら、事業を推進していきたいと思ひます。</p>
16	<p>「地域食材の健康ブランド化及び販路拡大」については、市民への理解・浸透が深まれば、一過性の PR より大きな効果が期待できると思ふ。</p> <p>市民への理解・浸透や販路拡大のために、地域の商店をうまく活用してはどうか。例えば、商店に血圧計や体重計等健康器具を設置してみてもどうか。そのことで、来店する理</p>	<p>戦略（案）における「地域食材の健康ブランド化及び販路拡大」については、現在、産・学・官に加え、市民の方々も一緒になって、市民モニターを活用した鰹節の健康効果検証や、各地域での運動教室などの施策を展開しながら、市民への理解・浸透を図ってきているところです。ご提案いただいた内容については、今後の健幸のまちづくりの施策展開に</p>

	<p>由が生まれ、地域商店を拠点とする、健康をテーマとした世代を超えたコミュニティの場の形成や、健康意識の高まりによる健康ブランド食品の購入、地域商店における日常的な買い物への誘導による地域商店の活性化、見守り効果なども期待できるだろう。また、そこにチラシ等置いておけば、健康診断受診率アップも期待できる。このような「小さな拠点：よろずや」は今すぐにでも可能だと思う。</p>	<p>おけるご意見として承ります。</p> <p>また、ご提案にあるような、例えば、健康をテーマとした、地元商店との連携による「小さな拠点」づくりについては、戦略（案）の「4（イ）①ゆるやかにつながる小さなまち・むら（小さな拠点づくり）」にあるとおり、人口減少が進む中で、地域生活者同士のつながりを再生・強化していくことは重要であると考えています。</p> <p>ただし、地域が抱える課題は、それぞれの地域で異なることから、画一的な拠点を整備するのではなく、それぞれの地域が必要とする「小さな拠点」づくりができるような地域力の創出を目指していくこととしています。</p>
17	<p>首都圏からの移住や企業移転に関する目標設定がされていない。</p> <p>過去の指宿への転入・転出については、分析され、図解されていることから、それらを使って、将来予測すべきである。</p> <p>今後、起こる可能性の考えられる、首都直下型地震や、富士山噴火などを考えても、企業や人の転入については、高い目標を達成可能であると考ええる。</p>	<p>人口ビジョン（案）においては、2013年における転入・転出の多い地域を現状分析していますので、現状分析を戦略に活用していきたいと考えています。</p> <p>また、移住に関する目標設定については、戦略の「2（ア）①本市への移住の促進」におけるKPI（重要業績評価指標）において、定住促進対策事業を活用した移住件数を成果指標の1つとして設定しています。首都圏に限らず、戦略の効果を見るために、施策を活用した移住者の数を捉えて評価していく考えです。</p> <p>また、企業移転（誘致）については、引き続き、首都圏に限らず、既存事業の中において、各関係団体と連携した企業誘致の取り組みを行っていきます。戦略（案）においては、まずは、地元企業の活性化を図ることによる雇用拡大・地域経済の活性化を図ることが重要であるという考えに基づき、施策を展開していこうとするものです。</p>
18	<p>市内にある、味噌や鰹節製造などの発酵技術を応用して、酵素いっぱいのパッションフルーツジュース、ハーブを使った漬物、鰹節製造に残る魚の頭部を使った魚醤などの製品開発をしてはどうか。</p> <p>また、製品開発する際には、山川高校の設備を活用したり、研究の一部を高校に委託したりしてはどうか。</p>	<p>市内の特産品や技術を活かした商品開発については、戦略（案）の「1（ア）①もうかる指宿クラスター（仮称）」による販売戦略研究会（仮称）において、需要や開発後の販路などの研究を支援するとともに、特産品起業塾（仮称）の事業展開の中で、具体的な商品開発を支援していく考えです。</p> <p>商品開発のご提案の内容については、ご意見として承ります。</p> <p>また、特産品起業塾（仮称）の運用においては、ご提案にあるような、山川高校や指宿商業高校との連携も視野に、効果的な事業展</p>

		開を目指しております。
19	<p>戦略（案）の「1（ウ）①「地熱の恵み」活用プロジェクト」に関連して、地熱開発について、将来ビジョンがない。</p> <p>「温泉資源の保護及び利用に関する条例」で、市内の温泉湧出量などを市に報告することを義務付けているが、その内容の公開はしないようだ。また、新規地熱発電参入事業者の事業計画等を審議する「調和のとれた地熱活用協議会」のメンバー名やメンバーの選出基準、審議会傍聴の可否について明らかでない。これでは、将来の地熱開発が行き詰ってしまう。</p> <p>まずは、地熱開発に関連した各種コストを公開することだ。</p>	<p>本市においては、地熱を有望な地域資源として捉え、今回の戦略（案）に掲げたところ です。</p> <p>また、ご指摘の「調和のとれた地熱活用協議会」については、企業情報が含まれるとともに、委員の自由な意見を述べる機会が損なわれる恐れがあることから、会議については、非公開としています。</p> <p>なお、審議内容の開示については、情報公開条例に基づき、対応いたします。その中で、公表できる内容については開示いたします。</p>
20	<p>戦略（案）の「1（ウ）①「地熱の恵み」活用プロジェクト」に関連して、既に実施されている NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）などによる、市内の地熱資源量調査結果を整理して、市のホームページで公開するとともに、簡単なパンフレットにして市内に配布すべきではないか。</p>	<p>ご指摘の内容につきましては、地熱発電を推進する国の役割と捉えていますが、市もできる範囲で協力をしていきたいと考えています。</p>
21	<p>戦略（案）の「1（ウ）①「地熱の恵み」活用プロジェクト」に関連して、伏目温泉に関しては、過去に資源量調査がされているようだが、今年また新たに資源量調査することに疑問である。</p>	<p>今回、本市と民間企業とで、共同で地熱開発をしようとしているヘルシーランド周辺においては、過去において、詳細な資源量調査はしていないことから、事業推進にあたって、必要不可欠な調査だと考えています。</p>
22	<p>戦略（案）の「1（ウ）①「地熱の恵み」活用プロジェクト」に関連して、地熱資源量調査を請け負った業者に、秘密保持を義務付けているようだが、公費で調査をするのに秘密にするのはおかしいと思う。</p>	<p>今回、請け負った業者に対しては、委託業務の処理上知り得た個人情報や機密情報について、守秘義務を設けています。</p> <p>成果品については、市に帰属しますので、情報公開については、市の情報公開条例に基づき、対応することとなります。</p>

##### 5. 「基本目標2. 地方への新しいひとの流れをつくる」について

No.	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
23	<p>空き店舗にテナントが入ってもらうには、まず、人が集まる必然的な状況を作る必要がある。例えば、空き店舗と隣接して行政機関を設置して、行政も「もうかる指宿」の一役を担ってみてはどうか。</p> <p>また、テナント料は事前に設定せず、テナ</p>	<p>空き店舗の活用においては、ご指摘のとおり、空き店舗の活用策と合わせて、必然的な人の流れを作ることを同時に検討し、効果的な事業を展開するという視点もあると思います。</p> <p>戦略（案）の「2（ア）①本市への移住の</p>

	<p>ントへのヒアリングを基に設定し、その家賃に合わせた、身の丈に合ったリフォームにすることで、無理せず長期的にテナントとして入ってもらえると考えます。</p> <p>テナントの業種は、将来に向けて指宿に必要な業種にしたほうが良いと考える。</p> <p>さらに、これら空き店舗活用の運営・管理を行う運営会社（民間）が必要だと思ふ。</p>	<p>促進」における「空き家・空き店舗活用事業」を事業展開していくうえで、ご意見として承ります。</p> <p>また、空き店舗活用の運営・管理を行う運営会社（民間）が必要だというご指摘につきましては、戦略（案）の「2（ア）①本市への移住の促進」における「Welcome いぶすき コンシェルジュの配置」事業において、地域おこし協力隊などの外部人材の活用を図りながら、空き家・空き店舗の活用も含め、移住・定住策について、総合的に運営していくことを検討しているところです。</p>
24	<p>空き家を利用して、物販やサービスではなく、インターネット関連の起業塾を、全国から生徒を募集して開校してはどうか。</p> <p>具体的には、開校中は生徒たちに割安で住んでもらい、空き家で開業することを条件として募集する。当面のリフォーム代は、開業後の家賃や法人税等で回収する先行投資型である。</p> <p>戦略内にもいくつか出てくるインターネットを活用した情報発信や PR、販路拡大にも役立つのではないかと。</p>	<p>戦略（案）の「2（ア）①本市への移住の促進」における「空き家・空き店舗活用事業」を事業展開していくうえで、ご意見として承ります。</p>
25	<p>観光客誘客のためのポイントの1つは、連泊とリピーター確保であると考えます。</p> <p>そのために、例えば、下記のような取り組みをしてみてもどうか。</p> <p>(1) 日本一、名所、風景、名物を、周辺自治体と一緒に発掘する。</p> <p>(2) 農地や農作物等のオーナー制度による、リピーターの仕掛けづくりをする。</p> <p>(3) 外国人観光客に対する指宿らしいおもてなしとして、</p> <p>① 温泉の無料開放</p> <p>② 民泊ツアーと合わせるなどした、お金のかからない旅行の仕組みづくり</p> <p>③ 市内飲食店のパスポート発行</p> <p>④ 保育園、幼稚園、小学校、中学校への訪問による子ども達とのふれあい</p> <p>⑤ 地元商店の買い物チケット発行</p>	<p>滞在型観光の推進と、外国人をはじめ、誰でも訪れやすい観光地づくりを推進することは、観光客の誘客のために重要だと考えております。</p> <p>そういった視点から、戦略（案）の「2（イ）③滞在型観光拠点の整備」及び「2（イ）④受入体制の整備」を推進することとしており、ご提案いただいた内容については、これらの施策を展開していくうえで、ご意見として承ります。</p>



26	<p>魚見岳の絶壁や、ヘルシーランド近くの山を、ロッククライミングやボルダリング場として、整備してみてはどうか。ある程度、人口増加が達成された段階において実施すれば、観光産業の活性化につながると思う。</p>	<p>ご提案の内容については、戦略(案)の「2(イ)③滞在型観光拠点の整備」の「アクティビティの開発」における施策展開をしていくうえで、ご意見として承ります。</p>
----	--	---

#### 6. 「基本目標3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」について

No.	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
27	<p>出会いの場を提供することは重要だが、結果、指宿に住んでいただかないと意味がないと思う。</p> <p>したがって、出会いの場の提供と同時に、その後の住宅、子育て、労働等におけるサポート環境のPRが重要であると考えます。</p> <p>具体的に、住宅については、空き家を有効活用するとともに、周辺住民に空き家住宅周辺の草払い等の協力をもらうなどして近所づきあいの環境も整え、リフォームに関しては、市が利子補給を行うことなどが考えられる。</p> <p>子育てについては、NPO等と連携した保育や病児保育を拡充する。</p> <p>また、教育については、例えば、英会話教室を誘致して、中学生まで無料の利用料とすることで、英会話教育の充実を図り、英会話を学ばせたい・学びたいという家庭や子ども達の希望を叶えることで移住促進を図るとともに、英会話を身につけることでインバウンド対策にもつなげる。</p> <p>労働については、戦略における「地域企業応援センター(仮称)」などの異業種間連携などで地道に起業促進を図り、雇用の場を増やしていく必要があると思う。</p>	<p>ご指摘のとおり、男女の出会いから出産・子育てまで、切れ目のない支援が必要だという考えに基づき、戦略(案)の「基本目標3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の施策(案)を構築しています。</p> <p>また、ご指摘のとおり、「基本目標1」における雇用の創出や、「基本目標2」における空き家の有効活用など、他の基本目標における分野も含めて、総合的に施策展開することで、効果的な事業展開を目指しています。</p> <p>ご提案の内容については、これらの施策の展開におけるご意見として承ります。</p>

#### 7. 「基本目標4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域が連携する」について

意見なし

#### 8. 戦略(案)に関連するその他の意見について

No.	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
28	<p>人口減少や高齢化に伴い、介護従事者や家族一人当たりの負担は極めて大きくなると考えられる。介護に追われ健全な経済活動を行うことが難しくなり、最終的には、市全体の経済力の低下を招きかねない。介護に関する労働生産性を高める必要がある。</p> <p>そこで、市で、施設や在宅介護家庭に介護ロボ</p>	<p>現在、国においても、介護施設の整備や介護人材の育成を進めることで、在宅介護の負担を軽減し、仕事と介護が両立できる社会づくりを本格スタートしようとしています。</p> <p>ご提案の内容についても、ご意見として承り、国の動きも注視していきたいと思</p>

	を試験的に貸し出すなどして、介護ロボの導入を検討してみてもどうか。	ます。
29	<p>10年、20年、30年後の将来の具体的な日常生活のイメージを物語形式にして示してはどうか。</p> <p>例えば、「オクラとマンゴーを使ったケーキが指宿市の特産となり、その生産を行っている私は、朝4時に起きて食材の仕込みをする。6時には近所の65歳の高齢者が工場にやってきて、加工を手伝ってくれる。私の給与は・・・で、高齢者の給与は・・・だ。午前9時には販売店舗へケーキを運び、それ以降は一応自由になる。高齢者はそれぞれ自分が受け持っている畑に行くことが普通になっているが、私は山川港でのブリ養殖でのエサやりをする。こちらはあくまでボランティアだ。市内の産業のほぼ半分はボランティアによって担われていて・・・」といったような形で。</p>	<p>将来の人口減少や対策を具体的にイメージすることは、重要なことだと考えますので、1つの手法として、今後の参考にさせていただきますと思います。</p>
30	<p>なのはな館について、県から市への無償譲渡が予定されている。それに伴い、温泉施設と温泉プールの取り壊しがされるようだが、疑問である。</p> <p>養護老人ホームなどを市で建設し、セिकासポーツセンターなどの民間に委託するなどして生かすことは容易であるとする。</p> <p>老人の孤立は将来の公費負担を増大させることから、それを防ぐためにも、温泉施設などを生かすべきである。</p> <p>少なくとも、維持管理にどれだけの費用がそれぞれ何のために必要で、現在、取り壊しの方向性で検討しているのかを情報開示する必要がある。</p> <p>セントラルヒーティングを個々の施設での空調に切り替えることは可能なので、そのコスト試算があれば、取り壊しの必要性の判断はしやすいと思う。</p>	<p>なのはな館の活用については、市内の各団体の代表者や公募により選定された委員で構成する「なのはな館利活用検討委員会」において、検討された内容を基にしております。</p> <p>その中で、温水プールのある健康増進施設については、維持管理費が大きいことから、民間活力ゾーンに位置づけた経緯があります。</p> <p>また、温泉施設等の施設の解体については、後年度において、市に大きな財政負担があってはならないという基本姿勢で、県と協議を進める中で、将来の維持管理費を考慮し、県と合意に至ったものです。</p>
31	<p>フラワーパークかごしまが、赤字施設であることは明らかであり、早めに県との協議を始め、将来の運営について検討すべきである。その際には、県民・市民への情報公開が必要である。</p>	<p>フラワーパークかごしまについては、県の施設であり、市にとっても、重要な観光施設の1つであるとともに、市民の憩いの場にもなっていると認識しております。</p>
32	<p>定置養蜂の可能性を検討してはどうか。</p> <p>指宿には温暖な気候があるとともに、観光都市として市内の各所で花壇の整備がされている。</p> <p>蜂蜜に限らず、プロポリスやローヤルゼリー、ミツロウ、蜂の子などの製品化や、お菓子などの加工品への活用も考えられる。</p> <p>比較的、養蜂の技術は習得しやすいことから、まず、試験的に農協やホテルなどの民間に委</p>	<p>1つの産業振興策として、ご提案として承ります。</p>

	託してみてもどうか。将来性の高い産業であると考えてみる。	
33	池田湖や鰻池を巨大な養魚場として使うことはできないか。	池田湖と鰻池は、自然公園法の第二種特別地域に指定されており、豊かな生態系があります。 巨大な養魚場を設置することは、餌等の残渣が生じ、水質に悪影響を及ぼすことが懸念されます。

### 9. パブリック・コメント制度のあり方について

No.	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
34	<p>現行のパブリック・コメントは、指宿市に限らず全国的にも、単に意見を受け付けるだけであり、寄せられた意見に対して「ご意見として承ります」では評価が不十分である。</p> <p>また、現在のパブリック・コメント制度における、意見の募集方法は不十分である。</p> <p>今回のパブリック・コメントについては、10月14日が意見の提出期限だが、意見募集について、市のホームページと9月のお知らせ版に掲載されているだけである。少なくとも、各公民館に配布するか、又は、一般市民が直接文書を手にとって読むことができるようにするとともに、市内で説明会を開催するなど、1ヶ月程度の期間をかけて、素案の周知と意見の吸い上げを行うべきであった。</p> <p>特に、今回のパブリック・コメントは、指宿市の将来の基本方針を決める重要なものであることから、やり直しを検討すべきではないか。</p>	<p>パブリック・コメント制度については、市民等の市政への参画の機会を拡充するとともに、市民等に対する説明責任を果たすことで、市民等との協働による開かれた市政の推進に資することを目的としております。</p> <p>そのため、指宿市パブリック・コメント制度実施要綱に基づき、市の重要な施策等の作成案の段階で、広く市民等に公表し、いただいた意見等については、十分に考慮し、最終的な決定をするとともに、意見等に対する市の考え方を公表する手続きを実施してきているところです。</p> <p>今回の戦略(案)に対する意見募集につきましても、公表の場所や期間も含め、現行の指宿市パブリック・コメント制度実施要綱に基づき、実施しております。</p> <p>また、戦略(案)については、民間合同のプロジェクトチームで原案を策定するとともに、外部諮問機関である「指宿市総合振興計画審議会」でも審議いただいております。</p> <p>従いまして、パブリック・コメントをやり直すことは考えておりません。</p>